

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	大手前短期大学
設置者名	学校法人 大手前学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学 共通 科目	学部 等 共通 科目	専門 科目	合計		
ライフデザイン 総合学科		夜・通信			14	14	7	
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

<p>【本授業は、実務経験を有する教員が担当し、当該の経験に基づく内容を教授します。】である旨をシラバスに記載している。 また、別途ホームページにて公開している。 <a href="https://college.otemae.ac.jp/files/about/2019_tandai_jitsumu.pdf">https://college.otemae.ac.jp/files/about/2019_tandai_jitsumu.pdf</a></p>
---

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

## 様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	大手前短期大学
設置者名	学校法人 大手前学園

### 1. 理事（役員）名簿の公表方法

学校法人大手前学園ホームページ内「学園データ→大手前学園の組織」および「情報公開→事業報告」において公表している <a href="https://gakuen.otemae.ac.jp/about/organization.html">https://gakuen.otemae.ac.jp/about/organization.html</a>
---

### 2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	弁護士	2019.4.1～ 2023.3.31	法務
非常勤	企業代表取締役副社長	2018.4.1～ 2022.3.31	地域連携
(備考) 他3名			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	大手前短期大学
設置者名	学校法人 大手前学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p>													
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p><u>授業計画の作成・公表過程</u></p> <p>前年度12月より、カリキュラム・ポリシーに基づき以下の事項を漏れなく記載するよう教員に依頼している。シラバス管理専門部会(教員・職員協働部会)においてチェックを行い必要があれば修正依頼を行っている。学生には履修登録開始前の3月下旬にWEB公表を行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業形態(講義、演習、実技の別及びオムニバス、集中の別)</li> <li>・授業のねらい(授業の目標など)、授業時間外学習(時間外学習の内容)</li> <li>・授業計画(第1回～15回まで各授業回ごとに、授業の主題と内容および予習・復習を踏まえ得られる成果。予習・復習の具体的な内容及びそれに必要な時間)</li> <li>・授業の到達点・学習成果(授業のなかでどこまでできるようになるか等)</li> <li>・成績評価の対象となる項目・配分(成績評価の方法・基準)</li> <li>・教科書・参考書(出版社名、著作者名、発行年度等)</li> <li>・その他(実務経験のある教員による授業科目についてはその旨)</li> </ul>													
<p>授業計画書の公表方法</p>	<p>ホームページにて公表</p> <p><a href="http://sb.otemae.ac.jp/syllabus/SyllabusSearch.aspx">http://sb.otemae.ac.jp/syllabus/SyllabusSearch.aspx</a></p>												
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>													
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p><u>単位授与又は履修認定の厳格かつ適正な実施状況</u></p> <p>シラバスに明記し学生にあらかじめ示した客観的な「成績評価の対象となる項目・配分」(成績評価の対象となる方法・基準)に基づき、担当教員の主観を排除し、各学生の学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を授与している。</p> <p>なお、本学の成績評価の評語と意味は次のとおりである。</p>													
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評語</th> <th>意味</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A</td> <td>特に優秀な成績</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>優れた成績</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>一応その科目の要求を満たす成績</td> </tr> <tr> <td>D</td> <td>単位が与えられる最低の成績</td> </tr> <tr> <td>F</td> <td>不合格(放棄を含める)</td> </tr> </tbody> </table>		評語	意味	A	特に優秀な成績	B	優れた成績	C	一応その科目の要求を満たす成績	D	単位が与えられる最低の成績	F	不合格(放棄を含める)
評語	意味												
A	特に優秀な成績												
B	優れた成績												
C	一応その科目の要求を満たす成績												
D	単位が与えられる最低の成績												
F	不合格(放棄を含める)												

<p>「A・B・C・D」の評価を得たものに所定の単位が与えられる。</p>	
<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p><u>GPA等の客観的な指標の具体的な内容</u></p> <p>本学ではGPA制度を導入している。「A・B・C・D・F」の成績にそれぞれ「4・3・2・1・0」のグレードポイントを付与し、その総合計を履修登録単位数の総合計で除して算出している（小数点以下第3位切り捨て）。学期ごとのGPA（学期GPA）及び入学時から通算したGPA（通算GPA）を算出し、成績発表と同時に成績通知書に記載し学生本人に通知している。</p> <p><u>客観的な指標の適切な実施状況</u></p> <p>成績発表にあわせて、客観的な指標に基づく成績の分布を示す資料を公表している。成績の分布を示す資料により、各学生は学科内における成績の分布状況を把握し、自らの相対順位を確認することで、今後の学修活動に活かしている。GPAが著しく低い場合は、退学が勧告されることがある。</p> <p>また、本学では専任教員（一部、非常勤講師を含む）がクラス担任として、学生一人ひとりを担当し学習に関する指導等を行う制度を設けている。クラス担任は、担当する学生の履修登録、授業への出席状況、成績や就職活動状況などを絶えずモニターし、必要に応じて学生に助言や指導を行っている。</p>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>ホームページ上にて公表  <a href="https://college.otemae.ac.jp/files/about/2019_tandai_seiseki-bunpu.pdf">https://college.otemae.ac.jp/files/about/2019_tandai_seiseki-bunpu.pdf</a></p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	
<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p><u>卒業の認定に関する方針の具体的な内容</u></p> <p>本学では、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）を定め、ウェブサイトはもとより、『履修ガイド』や『学生募集要項』等において広く内外に公表している。</p> <p>卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）では、教育課程において厳正な成績評価を行い、所定の単位を修め、「体系的専門知識・技術」「実践的な基礎ビジネス知識・能力」「社会人としての基礎力」の知識・能力を修得した学生に卒業を認定し、学位を授与すると定めている。</p> <p><u>卒業の認定に関する方針の適切な実施状況</u></p> <p>卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に基づき、卒業要件として次のとおり在学年数及び卒業要件単位数等を学生に対して示している。卒業要件修得単位数を満たした学生に対して、教授会の議を経て卒業を認定している。</p> <p>&lt;ライフデザイン総合学科&gt;</p> <p>1) 在学年数  卒業するには2年以上本学に在学する必要がある。  ただし、長期履修生については3年以上となる。  なお、休学期間は在学年数に算入されない。</p> <p>2) 卒業要件単位数等  卒業するためには、次の要件をすべて満たした上で、卒業要件の科目の中から6 2単</p>	

位以上を修得する必要があります。

- ①共通教育必修科目「ライフデザイン」(1単位)、「コンピュータ演習」(1単位)、「フォーラムA」(1単位)、「フォーラムB」(1単位)の計4単位修得をしていること。
- ②共通教育選択必修科目より次の要件をすべて満たしていること。
  - ・「基礎英語」(1単位)または「日本語表現法」(1単位)のどちらか1単位以上修得していること。
  - ・「キャリアデザイン」(2単位)、「キャリアプランニング」(2単位)および「キャリアベーシック」(2単位)より、2単位以上修得していること。
  - ・「Word 演習」(2単位)および「Excel 演習」(2単位)の4単位、「簿記Ⅰ」(2単位)および「簿記Ⅱ」(2単位)の4単位、または「販売論」(2単位)および「販売実務」(2単位)の4単位のうちから、1セット4単位以上修得していること。
- ③専門教育必修科目「ゼミナールA」(1単位)および、「ゼミナールB」(1単位)の計2単位修得していること。
- ④専門教育科目における7つのコースのいずれか1コースから20単位以上修得していること。

卒業の認定に関する  
方針の公表方法

ホームページにて公表

<https://college.otemae.ac.jp/about/policy.html>

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	大手前短期大学
設置者名	学校法人 大手前学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	<a href="https://gakuen.otemae.ac.jp/about/disclosure.html">https://gakuen.otemae.ac.jp/about/disclosure.html</a>
収支計算書又は損益計算書	<a href="https://gakuen.otemae.ac.jp/about/disclosure.html">https://gakuen.otemae.ac.jp/about/disclosure.html</a>
財産目録	<a href="https://gakuen.otemae.ac.jp/about/disclosure.html">https://gakuen.otemae.ac.jp/about/disclosure.html</a>
事業報告書	<a href="https://gakuen.otemae.ac.jp/about/disclosure.html">https://gakuen.otemae.ac.jp/about/disclosure.html</a>
監事による監査報告(書)	<a href="https://gakuen.otemae.ac.jp/about/disclosure.html">https://gakuen.otemae.ac.jp/about/disclosure.html</a>

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称: )	対象年度: )
公表方法:	
中長期計画(名称: )	対象年度: )
公表方法:	

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: ホームページにて公表 <a href="https://college.otemae.ac.jp/about/accreditation.html">https://college.otemae.ac.jp/about/accreditation.html</a>
---

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法: ホームページにて公表 <a href="https://college.otemae.ac.jp/about/accreditation.html">https://college.otemae.ac.jp/about/accreditation.html</a>
---

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 ライフデザイン総合学科
教育研究上の目的 (公表方法: ホームページにて公表) (概要) 下記 URL にて公表している <a href="https://college.otemae.ac.jp/files/about/2019_gakusoku_tandai.pdf">https://college.otemae.ac.jp/files/about/2019_gakusoku_tandai.pdf</a> <a href="https://college.otemae.ac.jp/files/about/h25_jikotenken.pdf">https://college.otemae.ac.jp/files/about/h25_jikotenken.pdf</a>
卒業の認定に関する方針 (公表方法: ホームページにて公表) (概要) 下記 URL にて公表している <a href="https://college.otemae.ac.jp/about/policy.html">https://college.otemae.ac.jp/about/policy.html</a>
教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法: ホームページにて公表) (概要) 下記 URL にて公表している <a href="https://college.otemae.ac.jp/about/policy.html">https://college.otemae.ac.jp/about/policy.html</a>
入学者の受入れに関する方針 (公表方法: ホームページにて公表) (概要) 下記 URL にて公表している <a href="https://college.otemae.ac.jp/about/policy.html">https://college.otemae.ac.jp/about/policy.html</a>

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法: ホームページにて公表 <a href="https://college.otemae.ac.jp/about/organization.html">https://college.otemae.ac.jp/about/organization.html</a> <a href="https://college.otemae.ac.jp/files/about/h25_jikotenken%20(1).pdf">https://college.otemae.ac.jp/files/about/h25_jikotenken%20(1).pdf</a>
--

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	2人	—					2人
ライフデザイン総合学科	—	7人	5人	2人	0人	0人	14人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員				計	
0人		81人				81人	
各教員の有する学位及び業績 (教員データベース等)		公表方法：ホームページにて公表 <a href="http://kg.otemae.ac.jp/gyoseki/japanese/index.html">http://kg.otemae.ac.jp/gyoseki/japanese/index.html</a>					
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							
<p>FD活動についてはFD委員会が担当しており、「FD委員会規程」に基づいて①FD講演会およびセミナーの開催、②教職員合同の全学講演会の実施、③他大学の視察などを行っている。例えば平成30年9月に開催したセミナー「授業評価の結果分析・検討」では、授業評価に対する今後の授業のあり方など課題を検討する機会となった。また、FD委員会が地域連携についても「PBL型課外活動の推進に関する研究」として担当していることから、連携先の西日本旅客鉄道（JR西日本）、伊丹市、こぼと保育所、高齢者福祉施設、障害者福祉施設の関係者と共に実施したPBL型課外学習について、参加学生のプレゼンテーションで検証する活動を行った。他に同じく「PBL型課外学習の推進に関する研究」として自主学習を主体に資格検定対策など学生の支援を行っている。</p>							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
ライフデザイン総合学科	200人	230人	115%	450人	417人	92%	—人	—人
合計	200人	230人	115%	450人	417人	92%	—人	—人
(備考)								
・ライフデザイン総合学科 平成31年4月より入学定員を250人→200人に変更								

b. 卒業生数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
ライフデザイン総合学科	185人 (100%)	14人 ( 7.6%)	146人 ( 78.9%)	25人 ( 13.5%)
合計	185人 (100%)	14人 ( 7.6%)	146人 ( 78.9%)	25人 ( 13.5%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
大阪シティ信用金庫、姫路信用金庫、(株)富山第一銀行、(株)エーデルワイス、ロクシタンジャパン(株)、(株)コーサー、(株)アダストリア、(株)パル、(株)上組、アインファーマシーズ、(株)新神戸ホールディング ANA クラウンプラザホテル神戸、(株)ジャヴァコーポレーション				



(備考)

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）

学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業者数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (100%)	人 ( %)	人 ( %)	人 ( %)	人 ( %)
	人 (100%)	人 ( %)	人 ( %)	人 ( %)	人 ( %)
合計	人 (100%)	人 ( %)	人 ( %)	人 ( %)	人 ( %)

(備考)

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要)

カリキュラム・ポリシーに基づき以下の事項を漏れなく記載するよう教員に依頼している。シラバス管理専門部会(教員・職員協働部会)においてチェックを行い必要があれば修正依頼を行っている。学生には履修登録開始前の3月下旬にWEB公表を行っている。

- ・授業形態（講義、演習、実技の別及びオムニバス、集中の別）
- ・授業のねらい（授業の目標など）、授業時間外学習（時間外学習の内容）
- ・授業計画（第1回～15回まで各授業回ごとに、授業の主題と内容および予習・復習を踏まえ得られる成果。予習・復習の具体的な内容及びそれに必要な時間）
- ・授業の到達点・学習成果（授業のなかでどこまでできるようになるか等）
- ・成績評価の対象となる項目・配分（成績評価の方法・基準）
- ・教科書・参考書（出版社名、著作者名、発行年度等）
- ・その他（実務経験のある教員による授業科目についてはその旨）

以上を踏まえ、学生は授業開始前に年間の授業計画を立てており、各クラス担任は担当学生への学習指導対応を行っている。

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要)

シラバスに明記し学生にあらかじめ示した客観的な「成績評価の対象となる項目・配分」（成績評価の対象となる方法・基準）に基づき、担当教員の主観を排除し、各学生の学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を授与している。

なお、本学の成績評価の評語と意味は次のとおりである。

評語	意味
A	特に優秀な成績
B	優れた成績
C	一応その科目の要求を満たす成績

D	単位が与えられる最低の成績
F	不合格（放棄を含める）

「A・B・C・D」の評価を得たものに所定の単位が与えられる。

また、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に基づき、卒業要件として次のとおり在学年数及び卒業要件単位数等を学生に対して示している。卒業要件修得単位数を満たした学生に対して、教授会の議を経て卒業を認定している。

<ライフデザイン総合学科>

1) 在学年数

卒業するには2年以上本学に在学する必要がある。

ただし、長期履修生については3年以上となる。

なお、休学期間は在学年数に算入されない。

2) 卒業要件単位数等

卒業するためには、次の要件をすべて満たした上で、卒業要件の科目の中から62単位以上を修得する必要があります。

①共通教育必修科目「ライフデザイン」（1単位）、「コンピュータ演習」（1単位）、「フォーラムA」（1単位）、「フォーラムB」（1単位）の計4単位修得をしていること。

②共通教育選択必修科目より次の要件をすべて満たしていること。

- ・「基礎英語」（1単位）または「日本語表現法」（1単位）のどちらか1単位以上修得していること。

- ・「キャリアデザイン」（2単位）、「キャリアプランニング」（2単位）および「キャリアベーシック」（2単位）より、2単位以上修得していること。

- ・「Word演習」（2単位）および「Excel演習」（2単位）の4単位、「簿記I」（2単位）および「簿記II」（2単位）の4単位、または「販売論」（2単位）および「販売実務」（2単位）の4単位のうちから、1セット4単位以上修得していること。

③専門教育必修科目「ゼミナールA」（1単位）および、「ゼミナールB」（1単位）の計2単位修得していること。

④専門教育科目における7つのコースのいずれか1コースから20単位以上修得していること。

学部名	学科名	卒業に必要となる単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
ライフデザイン 総合学科		62単位	有	年間50単位
GPAの活用状況（任意記載事項）		公表方法:GPAは常にクラス担任がモニターし学生の学習指導に参考としている。また、GPAが著しく低い場合は退学勧告されることがある旨を学生に配布する「履修ガイド」に掲載のうえ、オリエンテーションにて通知している。		
学生の学修状況に係る参考情報（任意記載事項）		公表方法：ホームページにて公表 <a href="https://college.otemae.ac.jp/files/about/2018_tandai_enquete.pdf">https://college.otemae.ac.jp/files/about/2018_tandai_enquete.pdf</a>		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：短期大学ホームページ [確認方法：インターネット]  
<https://college.otemae.ac.jp/research/education/>

短期大学案内パンフレット[入手方法:インターネット]  
<https://college.otemae.ac.jp/request/>

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考(任意記載事項)
ライフ デザイン 総合学科		720,000円	250,000円	270,000円	施設設備費 他

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

<p>a. 学生の修学に係る支援に関する取組</p> <p>(概要)</p> <p>本学では、専任教員がクラス担任として学生一人ひとりを担当し学習に関する指導等を行う制度を設けている。クラス担任は、担当する学生の履修登録、授業への授業への状況、成績や酢湯職活動などを絶えずモニターし、必要に応じて学生に助言や指導を行っている。</p>
<p>b. 進路選択に係る支援に関する取組</p> <p>(概要)</p> <p>教職員で構成する就職委員会を組織し、月1回の開催を通して就職支援内容の改善を協議し、具体的施策を実行に移している。また、就職支援システムを活用し緊密な情報共有を図ることで教職協働の就職支援体制が確立している。1年生春学期には、「キャリアデザイン」を開講し、職業観の涵養をはじめ、チームワークや問題解決能力など汎用的能力の養成を図っている。また、「キャリア特講」では、基礎学力の担保のためリメディアル教育を行い、秋学期の「キャリアプランニング」では、自らのキャリアデザインを建設的に構想できることを目指している。くわえて、1年生の夏季休暇期間には、単位認定型のインターンシップの実施に力を注いでいる。2年生の先輩の体験談を行うなどその効用の理解を促し、就職希望者の約半数の学生が毎年参加し、自分自身の職業適性を見極め、職業選択の一助としている。</p> <p>正課外の就職支援プログラムも充実させ、業界研究セミナー、勇気づけの面接練習会(アドラー心理学による)、本番の面接練習会、ステップアップ面接練習会、グループディスカッション対策、履歴書添削会、就活実践講座、学内合同企業セミナー、は、すべて全員参加とし一人の脱落者もなく就活準備に万全を期している。正課の授業科目と正課外の就職支援プログラムが有機的に連動し、知識やノウハウと具体的な実践力の両面の能力伸長が図れる仕組みが構築されている。</p> <p>一方で、4年制大学への編入学支援にも力を注ぎ、進学希望者はすべて編入学プログラムに登録させ、志望理由書の添削や面接対策を行っている。特に他大学への編入学に関しては、英語、小論文試験などの対策講座を開講し、各志望大学の試験内容に応じた支援を行っている。</p>
<p>c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組</p> <p>(概要)</p> <p>学生の心身の健康等に係る支援を行うために、本学では、「健康相談室」と「学生相談室」を設置し、相談が必要な学生が利用できるようにしている。</p> <p>「健康相談室」は、授業期間中の毎週月～金曜日の9:00～17:00に開室、健康相談および救急処置等に応じている。学生には入学時のガイダンスで説明・資料を配布し、少しでも心身の異常、苦痛、不安等を感じたら、一人で悩むことなく気軽に来室する様、促している。</p> <p>「学生相談室(カウンセリングルーム)」も設置しており、学生の生きがいや悩みについて</p>

の相談窓口にしている。学生には「健康相談室」の案内同様、ガイダンスで説明・資料を配布している。

また、健康管理については、学校保健法第6条に基づき、学生の結核その他の「定期健康診断」を毎年1回実施、必要に応じて各科専門医の紹介も行っている。

尚、大学指定医療機関は以下の通り。

笹生(さそう)病院

診療科目

外科・内科・脳神経外科・整形外科・麻酔科・放射線科・理学診療科

西宮市弓場町(ゆみばちょう)5番37号

吉江胃腸科・外科

診療科目

内科・外科・胃腸科

伊丹市稲野町1-111

#### ⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：ホームページにて公表

<http://kg.otemae.ac.jp/gyoseki/japanese/index.html>